

てまいります。
海洋深層水事業についても引き続き企業誘致やPR活動に取り組んでまいります。

■観光・地域物産の振興

産業・経済の活性化を生産面からの振興に加え、消費者に一番近い視点から捉えた取り組みである「交流人口の拡大による新しいまちづくり」は、「企画調整と評価分析」、「体制の強化」、「個別機能の強化」、「拠点の整備」、「広域連携の仕組みづくり」という五つの柱に基づき、町内の産業・経済団体はもとより、檜山・後志管内とも協力しながら基盤づくりを行ってまいります。

今年度においても、この五つの柱を基本とし、町全体の機能向上を目指して「情報交流物産館の整備」、「体験観光メニューづくり」、「地域特産品の磨き上げや販路開拓支援」など、さらに実践的な施策を展開するとともに、これらを持続可能な仕組みとし

て定着させてまいります。
また、熊石地域のパークゴルフ場については、本年度より2カ年で整備をいたします。

■新産業の育成と雇用環境の整備

厳しい雇用情勢が続くなかで、道の特別基金による「緊急雇用創出推進事業」を引き続き活用し雇用の創出を図ってまいります。
また、町単独事業の緊急就労対策事業を継続し、季節労働者の冬期間の雇用の場の確保を図るとともに、「渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会」の取り組みを通じて季節労働者の通年雇用化の促進を図るなど、雇用・就業機会の創出と安定に努めてまいります。

3. 道南北部の中心性をより高めるまちづくり

■土地の有効活用と市街地、集落環境の整備

八雲シビックコア地区周辺環境整備については、出

雲通整備事業と一体的に整備を進め、町民の憩いの場となるよう取り組んでまいります。
また、北海道からの委託事業である3・4・2出雲通整備事業については、用地取得も終わり、完成に向け取り組んでまいります。
町営住宅の整備については、既存住宅の有効利用として策定した公営住宅等長寿命化計画に沿って計画的に取り組んでまいります。

■道路の整備

国道5号および277号、各道道の整備について、引き続き関係機関への要望を続けてまいります。
国道229号沿線等の高潮・越波対策につきましては、これまで順調に工事が進められております。引き続き要望箇所の整備について要請活動を続けてまいります。

町道については、橋の長寿命化修繕計画の策定を行うとともに、町民が安全に生活できるよう整備に取り組んでまいります。

■公共交通の充実

路線バスの利便性向上対策は、現行路線の確保に向けた対策を講じるとともに、八雲・熊石両地域の交流促進を図る上で不可欠であることから、将来的な需要と財政負担を勘案した検討を継続してまいります。
北海道新幹線札幌延伸は、昨年認可・着工が決定され大きく前進したところですが、今後早期完成に向け継続的に要請活動を展開して行くとともに、並行在来線について、適切に対応してまいります。

■航空基地との連携

航空自衛隊基地は、地域経済への波及のみならず町の振興に様々な関わりを持つとともに、災害時における支援活動など町民生活と密接な関係にあります。
自衛隊基地の有効活用、現部隊の維持と新たな部隊の配置を目指し、また、防衛施設周辺整備事業の拡充等についても要請活動をしてまいります。

4. 安全と安心が確保される潤いのあるまちづくり

■防犯・交通安全の推進

防犯、交通安全対策につきましては、町民一人ひとりが危機意識を持つことが大切ですが、特に、高齢者や児童生徒につきましては、町内会や関係機関との連携により意識の高揚を図り、なお一層の予防対策に力を入れてまいります。
また、消費者トラブルが複雑で高度化している中、広域化による消費生活相談体制の充実を図るとともに、消費者教育・啓発の充実に努めてまいります。

■消防・救急と防災

大規模災害に的確に対応し、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりのために消防防災力の強化と消防施設等の整備に努めてまいります。
消防団については、団員の資質向上と士気高揚を図り、また団員確保のため短